

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

秘

第二十七回技術會議
第十部第四回會議々事要旨

(一) 審議事項

デユコール鋼板製作に關する件

(二) 開 催 昭和三年八月十五日

(三) 出席者 別紙記載

(四) 議 事

(イ) 技 監 デユコール鋼の製法を考究したし、先づ従来の經過に付製鋼
部長の説明を求め

(ロ) 製鋼部長 大正十三年十月平賀少將來所され「英國海軍に使用せるデ
ユコール鋼を本省に於ても是非採用したき意圖なるが貴所に於て之が
製作可能なりや」の相談あり、當時の仕様書は抗張力三七乃至四四、
弾性界一七種以上、延伸率鋼板に對しては厚みの如何を問はず一七%
以上、屈曲試験試験片の厚みの一、五倍の半徑に冷間屈曲して疵なきもの



E533891

661333N.4

28/32

にして高張力鋼と大差なし尙化學分析は炭素約〇・三〇%、錳約一・五〇%なりき、而して其後試験の結果并つ大體に於て製作可能なりとの見當つきたり、然るに本年一月海軍省より更に「デユコール鋼に關し正式に註文を發して差支なきや」の問合せありしに依り差支なき旨回答して註文に應じ實際之が製造に當りしに不合格品が頻出するに驚き改めて仕様書其他を仔細に調査するに抗張力三八乃至四二種彈性界二〇%以上延伸率二〇%^{以下}屈曲試験試験片の厚みの二分の一の半徑に冷間屈曲して疵なきものとなり當初に示されたるものに比し遙かに嚴密となれり

而して初め成績不良なりしは屈曲試験にして現在に於ては形状不良に由る不合格頗る多し、但し其後檢定課及研究所と協力して種々調査研究の結果成績も漸次向上し最近に於ては材質形状共に先づ大體に於て左程懸念の要なき迄に達したり

因に對日海軍側より該仕様書の緩和方に對する提議を從進されしも緩

和親度の根拠を求むる能はざりしため其儘となり最近に至り再び右親
案を催されたるも今少し経過を見る必要もあれば暫く此儘にて押し進
みたる希望を有す

作親和の程度に於ては現在の處成案なし

(イ) 技 監 製鋼、鋼材兩課共仕様書の内容を承知して注文に應じたるや

(ニ) 製鋼部長 仕様書は昔の儘とのみ思ひ居たれば大體に於て化學成分に

注意せば之が製作は難事ならずとし注文を引受けたり

(ホ) 鋼材部長 事前に仕様書を示されず雖デユコール鋼として注文ありた

るに依り其の内容が嚴密となりし事は知る由もなかりき

(ハ) 技 監 結局思ひ違ひのためなるべし

尚鋼重量一五%と稱するは其程度に留る位多量の油塗を裝入して製鍊

するが可なりとの言ならん

(ト) 第三製鋼課長 屈曲試験の場合の割れは鋼材の入り方が機械的なるためな

るべければ鋼材は裝入後鑄融して折合ふを待たざれば不可なりとし其

間に十分の餘裕を置く事とせり。如斯せば滿庵量は必ずしも一、五〇%
 たるを要せず、二〇乃至三〇%にて可なり
 (子) 技 監 製鋼部長の言もあれど註文期限等の關係もあれば海軍側の從
 應に従ひ期限遅れのものに對しては暫定的規格として左記の適用を交
 渉し漸進的に現行のものに近づく事とせん

記

抗張力	三十乃至四四磅 (三ハ—四ニ)
降伏點	二五磅以上
彈性界	一八磅以上
延伸率	一八%以上
屈曲試驗	現在通り
	三〇%以上

出席者 (十名)

- | | |
|-----------|-----------|
| 野田 技監 | 兒玉 第一製鋼課長 |
| 久保田 製鋼部長 | 吉川 第三製鋼課長 |
| 松原 第二製鋼課長 | 野崎 第一製板課長 |
| 野崎 特殊鋼課長 | 森野 第一製板課長 |
| 永田 鋼板部長 | 井村 技研課長 |
| 奥檢定課長代理 | |